

	<p>【写真1】 マラリア一斉検査（2013年11月、セクション4）の様子。 右側がマラリア検査キットを使って検査をする、保健調査員の Ziliro 氏。</p>
	<p>【写真2】 蚊帳使用モニタリングの様子。 蚊帳の使用方法を指導しているところ。 立っている左が当会インターンの永山。右が当会現地スタッフの Tembo 氏。</p>
	<p>【写真3】 2013年9月マラリア予防キャンペーンの様子。保健調査員が、実際に蚊帳を使うところをデモンストレーションしている。</p>

	<p>【写真4】 2011年11月、蚊帳配布の様子。左側が当会スタッフ原田。</p>
	<p>【写真5】 2013年8月、保健調査員への、試験紙を使用した尿検査トレーニング終了後、リロングウェ県病院からの修了書を手にする保健調査員たち。前列中央が当会専門家の幕内看護師、後列左端が、リロングウェ県病院の講師、Kumwenda氏。</p>
	<p>【写真6】 2013年8月、住血吸虫症予防キャンペーンの様子。地元の劇団が、劇でメッセージを伝えている様子。</p>

	<p>【写真 7】 住血吸虫症一斉検査・治療時に、検査にきた住民を受け付けているところ。受付で住民には検尿用のカップが配られる。左端は当会スタッフの原田。</p>
	<p>【写真 8】 住血吸虫症一斉検査時に、簡易尿検査試験紙の使用法を保健調査員に指導する、当会専門家の幕内看護師。</p>
	<p>【写真 9】 TA クワタイネへのスタディツアーの際に、母子保健員会メンバーにツアーの目的を再確認する、幕内看護師。中央は、ンチェウ県病院の看護師、右側は当会スタッフの Njoloma 氏。</p>

	<p>【写真 10】 TA クワタイネへのスタディツアーで、歓迎の挨拶をする、TA クワタイネ代表。</p>
	<p>【写真 11】 TA クワタイネへのスタディツアーで、熱心にメモを取る母子保健委員会メンバー。</p>
	<p>【写真 12】 母子保健委員会が使用している、妊婦登録用の用紙。</p>
	<p>【写真 13】 妊婦検診に集まった妊婦に対して、健康教育を行う、当会現地スタッフの Njoloma 氏（奥の中央）。奥の右側が、当会専門家の広田医師。</p>

	<p>【写真 14】 妊婦検診で、妊婦のヘルスパスポートと、妊婦検診記録を確認する広田医師（右側）。中央が、チテゼ保健センターの Gwanbele 看護師。</p>
	<p>【写真 15】 右側に立っているのが母子保健委員会メンバー。妊婦に対して講義をしている様子。手前中央が、幕内看護師、左側が広田医師、奥側が当会スタッフの原田。</p>
	<p>【写真 16】 母親学級での調理の様子。</p>
	<p>【写真 17】 2013年10月の HIV/AIDS 予防キャンペーンで講義をする、チテゼ保健センターの HIV/AIDS コーディネーター (Mbiha 氏)。</p>

	<p>【写真 18】 HIV/AIDS Testing & Counseling の様子。テストを受けに来た若者たちに、テストの前のプレカウンセリングを行っている様子。輪の中央にいるのが、チテゼ保健センターのHIV/AIDS コーディネーターの Mbiha 氏。</p>
	<p>【写真 19】 HTC を視察に訪れた在マラウイ西岡大使に、HTC の説明をする広田医師（一番右側）。奥のエプロンを付けている男性がチテゼ保健センターのカウンセラー。その左がリロングウェ県病院の HTC コーディネーターの Limbe 氏。</p>
	<p>【写真 20】 浅井戸建設中の様子。井戸の深さを確認しているところ。中央が当会スタッフの原田。左端が当会スタッフの大豊。一番右が、当会現地スタッフの Chimwaza 氏。</p>



【写真 21】

完成した井戸を使用する住民
(セクション4、Mbeju 村)。
左側は当会スタッフの原田。



【写真 22】

修繕された排水枡。下の写真は修繕前の排水
設備の様子。不衛生な状態になっていた。



【写真 23】

井戸講習会で、ポンプの解体・組立
を実地練習している様子。中央で井
戸のパーツの説明を行っているの
が、講師の Namwera 氏。



【写真 24】

Water Point Garden に果樹を植林している様子。



【写真 25】

完成したエコサントイレを視察する、在マラウイ西岡大使。その左側（奥）で説明を行っているのが、当会スタッフの原田。



【写真 26】

健康教育ワーキンググループで、次回の健康教育のトピック決めと教材作成を行う保健調査員たち。右側が幕内看護師。その奥にいるのが、リロングウェ県病院の環境衛生監視官の Seven 氏。



【写真 27】

健康教育ワーキンググループで作成した教材を使って、健康教育を実施する、保健調査員の Nangwale 氏。



【写真 28】

健康教育ワーキンググループで、リロングウェ県病院で発表する内容を、保健調査員と議論する広田医師（右側）。



【写真 29】

リロングウェ県病院で、第1フェーズの活動に関して発表をする幕内看護師。中央が広田医師。左端が当会スタッフの原田。



【写真 30】

リロングウェ県病院で、健康教育ワーキンググループの活動発表を行う、保健調査員の Kabwenje 氏。



【写真 31】

モリンガの育苗施設をモニタリングする当会スタッフの仙道（セクション1）。



【写真 32】

栄養改善講習会の様子。中央が当会スタッフの原田。



【写真 33】

2013年11月のOVOPフェアで、他の参加者のブースを見て回って質問をする、ザピタGVHからの参加者（手前）。



【写真 34】
OVOP フェア会場で、自分たちが学んだことを情報共有するためのミーティングを行っている参加者。中央奥は、当会スタッフの原田。その左側は、当会現地スタッフのMwanganba 氏。



【写真 35】
巡回診療で患者の血圧を測る広田医師。



【写真 36】
巡回診療で現地医療スタッフ（Medical Assistant）とともに患者の訴えを聞く幕内看護師（右側）。

	<p>【写真 37】 巡回診療後の家庭訪問で、抗マラリア薬の服用方法を間違えていた裨益者に対し、飲み方を指導する保健調査員（右から 2 番目）と、幕内看護師（右端）。</p>
	<p>【写真 38】 救急自転車の引渡し式。当会の小野理事長（左端）出席のもと、引渡しが行われた。</p>
	<p>【写真 39】 保健調査員が実施した健康教育の一環で、病人役の保健調査員を乗せて、救急自転車をデモンストレーションする、幕内看護師（右端）。</p>